

スカイワードあさひ

天体観測室

〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1

TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



2017年 1月

1月の観望天体

星が生まれる散光星雲 オリオン大星雲

明るい星が華やかに輝く冬の星座。その中でもひときわ目立つのがオリオン座です。赤色のベテルギウスと青白いリゲルの2つの1等星と2つの2等星でつくられる四角形の真ん中に、ななめにならぶ3つの2等星、「三つ星」が目につきます。その三つ星の下（南）に小さな三つ星があります。この「小（子）三つ星」の真ん中にあるのが、有名な散光星雲、オリオン大星雲（M42）です。オリオン大星雲を望遠鏡でのぞくと、鳥がはねを広げているようにガスが広がっているのがわかります。オリオン大星雲は星が生まれる場所としても注目されています。中心部の明るいところを高倍率の望遠鏡で見ると、「トラペジウム」と呼ばれる台形にならんだ4つの星が見られます。これら星は数百万年ぐらいい前に生まれた赤ちゃん星です。強力な紫外線を出してまわりのガスを輝かせています。トラペジウムの左にも3つの星がならんでいます。「まご三つ星」と呼ばれています。



1月の夜間観望会

平成29年1月末まで、スカイワードあさひ天体観測室の改修工事のため、お休みさせていただきます。2月5日（日）から開催します。

1月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をH α フィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しよう。

平成29年1月末まで、お休みさせていただきます。2月4日（土）から開催します。

2月4日 天体観測室リニューアルオープン

オープニングイベント開催

日時：平成29年2月4日（土）午前11時～

場所：スカイワードあさひ6階ひまわりホール
8階天体観測室

内容

① 講演会「ブラック星博士の東海征服計画in尾張旭2017

おわりあさひの星空が大変だ！」

講師：ブラック星博士（明石市立天文科学館学芸員 井上 毅氏）

② 「50cm望遠鏡で金星を観よう！」

講師：「スカイワードあさひ星の会」の皆さん

※ 詳しくは、広報あさひ1月15日号をご覧ください。

多くの方のご来場をお待ちしています

無料



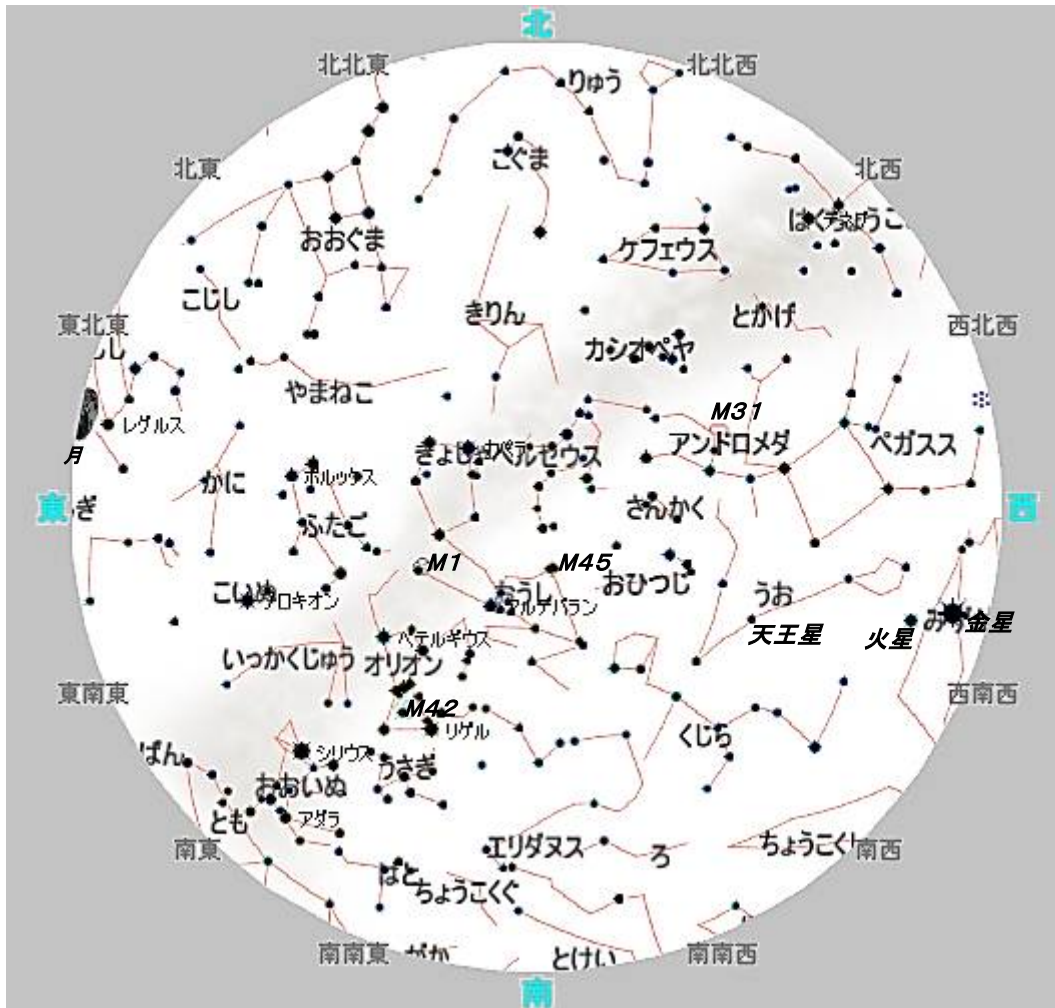
プロミネンス

黒点

星の会会員撮影

1月の星空

2017年1月15日 午後8時



1月の惑星

- 水星 明け方の東の空
- 金星 宵の西の空
- 火星 宵の西の空
- 木星 真夜中の東の空
- 土星 明け方の東の空
- 天王星 宵の南の空
- 海王星 宵の西の空

宵の西空では、金星、火星、海王星がそろっています。「宵の明星」の金星は12日に太陽からもっとも離れる東方最大離角を迎えます。明るさも-4.3等となりすばらしい輝きが見られます。2日には月齢4の細い月が金星に接近します。3日になると月は火星に接近します。

木星は、9日に西矩し、真夜中に東から昇ってきます。明け方には南の空で、おとめ座のスピカと並んで明るく輝いています。19日には月も並びます。

土星と水星が明け方、東の空に姿を見せます。

日	曜	月齢	1月の主な天文現象
1	日	3.2	(元日)
2	月	4.2	月が金星に接近
3	火	5.2	月が火星に接近 しぶんぎ座流星群極大
4	水	6.2	
5	木	7.2	(小寒)
6	金	8.2	上弦の月
7	土	9.2	
8	日	10.2	天王星が東矩
9	月	11.2	(成人の日) 木星が西矩
10	火	12.2	
11	水	13.2	
12	木	14.2	満月 金星が東方最大離角
13	金	15.2	
14	土	16.2	
15	日	17.2	

3日
しぶんぎ座流星群
三大流星群の一つで、多くの流星が流れます。今年の極大は3日午後11時ごろ、月も沈み、期待できそうです。しぶんぎ座は現在はありません。放射点はりゅう座です。

日	曜	月齢	1月の主な天文現象
16	月	18.2	
17	火	19.2	
18	水	20.2	
19	木	21.2	月が木星に接近 水星が西方最大離角
20	金	22.2	(大寒) 下弦の月
21	土	23.2	
22	日	24.2	
23	月	25.2	
24	火	26.2	
25	水	27.2	
26	木	28.2	
27	金	29.2	
28	土	0.5	新月
29	日	1.5	
30	月	2.5	
31	火	3.5	月が金星に接近

